



マーチィ's ROOM

マーチィに訊け!

まちづくりライブラリーからおすすめの一冊 県都市計画課で貸し出しできます!
「LANDSCAPE DESIGN No.152」 発行: マルモ出版



今号のおすすめ
ライブラリーはこちら!



みなさんは、この本をもうお読みになりましたか? 「前橋市の官民連携によるまちづくり」が特集されています。雑誌であり写真も多いですが、じっくりと読みたい一冊です。

本誌の対談で、「著名な建築家が関わった拠点を地域の自然資本である緑や水でつないでいくこと、最終的には地元の人たちだけでまちづくりを手掛けていくのが本来の姿、時間をかけて徐々に良くなっているということが前橋が注目を浴びている理由」とランド・スケープ代表取締役の平賀さんは仰っています。

その緑や水を感じながらまちなかを歩き、マチスタントが関わったお店に寄ってみる。急がずゆっくりと。長い歴史の土台の上にある現在の前橋まちなか。ゆったりとした時間の流れと対比する広瀬川の水量と勢い。心地よく魅了するポイントがいくつも発見できる楽しさ。

興味深い内容の本誌鼎談は、現在の前橋まちなかと照らし合わせることができます。写真の美しさとは現実には相違ないことも理解でき、ぐいっとひき込まれます。

前橋まちなかを歩き、自分がどんな感想を持つのか是非確かめてください。

まちなか散策とセットにしてお薦めしたい一冊です。

マーチィ VOICE

●まちづくりプレイヤー紹介●

伊勢崎市地域おこし協力隊 皆瀬 勇太



伊勢崎神社えんにちの様子



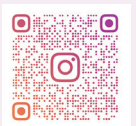
高校生発案の伊勢崎銘仙クラフトワークショップ

私は伊勢崎市のまちなか(伊勢崎駅から商店街周辺)の活性化と、任期後の起業をミッションに、令和5年4月から活動をしています。普段は「地域の風土を尊重しつつ、よそ者の視点で新しい賑わいを創出する」ことを目標に掲げ、「まちなか謎解きウォーク」や「伊勢崎神社えんにち」、「本町和菓子ストリート」など地域の方々と協力したイベントの企画・運営を行っています。また、まちなかの若者の居場所である「伊勢崎まちなかユーススペース」の立ち上げ・運営も担当しています。

特に令和6年8月に開始した「伊勢崎まちなかユーススペース」は、「まちなか×わかもの」をコンセプトに、空き店舗に悩む商店街の課題と居場所のない若者のニーズを同時に解決するために運営されています。ユーススペースは中学生から大学生までの若者が無料で利用でき、勉強や趣味、おしゃべり、昼寝など、自分の好きなことをして過ごせる場所です。また、協力隊の大人たちがさりげなく見守りながら、若者がやりたいことを実現する手助けを全力でサポートしています。実際に9月には高校生の発案による「伊勢崎銘仙クラフトワークショップ」が開催され、好評を博しました。

このように、若者がまちなかに集まる場所を作り居場所と可能性伸ばす機会を提供することで、活動が地域全体に波及し、街全体が元気になる未来を目指して今後も活動を続けていきます。

【伊勢崎まちなかユーススペース】 曜日: 水・金 場所: スペースKaze様や華々様2Fなどまちなかのスペース
料 金: 学生無料
設 備: お菓子ジュース無料、フリーWi-Fi、ハンモック、クッション、黒板、ホワイトボード、プロジェクター、スピーカー、その他必要なものは要相談
備 考: 曜日や場所は毎月に変換することがあります、最新情報は公式インスタグラムからご確認ください



ISESAKI.YOUTHCENTER
伊勢崎まちなか
ユーススペース
Instagram

マーチィの掲示板

群馬県庁インターンシップを終えて

筑波大学大学院人文学学位プログラム 井田 惇平

私は8月19日から5日間、群馬県庁インターンシップで県土整備部都市計画課にて実習させていただきました。私は大学で戦後の行政の都市整備に関する史料に触れる機会が多く、インターンシップ以前から都市計画課の業務には興味を持っておりました。しかし今回の実習では、目から鱗が落ちるような発見が次々とでき、都市計画課、ひいては県庁に対する従来のイメージが払拭されていくのを日々感じました。特に、官民で連携した新しい取り組みについてお話を伺ったことで、公務員の仕事のイメージが大きく変わりました。群馬県は時代の流れに合わせて少しずつ生まれ変わっており、そこで働く職員の仕事も変化の最中にあるのだということを強く感じました。業務以外のちょっとしたことについても、5日間都市計画課に通う中で多くの気づきを得ることができました。そして、もし県庁の職員として働くことになったらどのような生活が待っているのか、具体的にイメージすることができるようになりました。今回の経験は就職活動の一つの経験としてだけでなく、今後の人生を歩んでいく中でも生きてくるかけがえのないものになったと思います。お忙しい中大変貴重な経験をさせていただき、誠にありがとうございました。

